

■スライド書棚 令和バージョン「書院」仕様変更点のお知らせ

令和元年5月中旬出荷分より実施

※今回の改良は『書院』のみです、またこれによる価格等の変更はありません。

改良点要約

(別途解説あり)

1・書院本体部(奥側BOX) ダボ穴位置変更

固定棚付近の上下にある(実際には使えない)いわゆる「不要穴」を廃止し、上段・下段とも天地

90mm位置よりダボ穴開始といたしました。

2・側面部をフラット化

従来品の側面は、天地板に対し本体BOXが1数ミリほど内側にあったため連結などの際には若干の細工が必要でした。側面フラット化でそれを解決するとともに微調整も可能にしました。

3・天地・台輪のサイズ構成変更

昨今の住宅事情の変遷に沿った改良を施しました。

4・地板の心材等を再設計し更なる補強を図りました

当初より書院はBookmanよりも厚い地板材を用いているため、床抜け事故等は皆無でしたが、更に心材の数を増やし配置も見直して強度を増しました。

※詳しくは別添えの図解及び画像をご一読ください。

平成31年 4月 吉日

〒420-0064

静岡県静岡市葵区本通1丁目3-2 ヒキビル6F-B



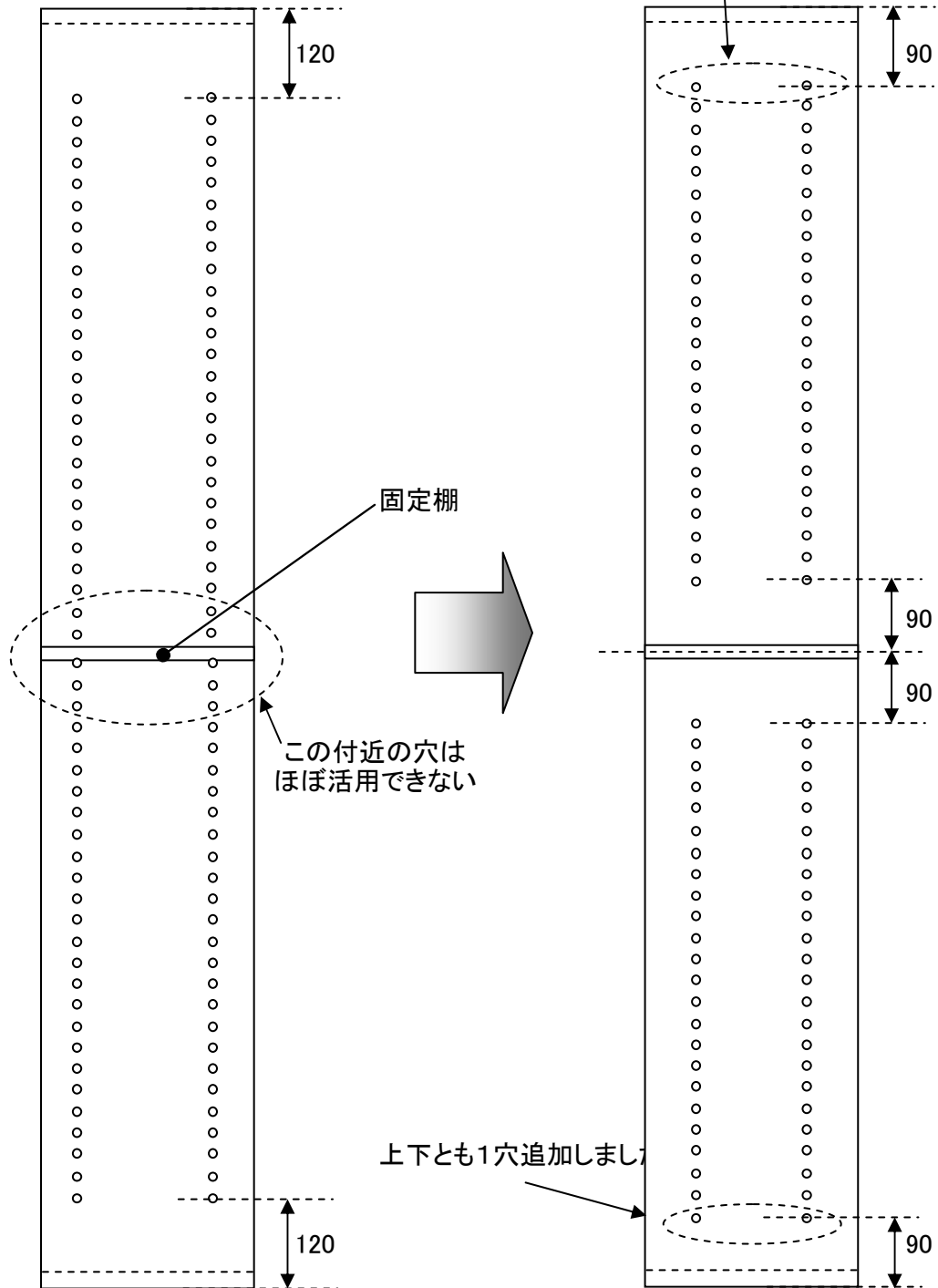
ハピネスコーポレーション書院

TEL 054-252-7588 / FAX 054-270-3054

■ 1・本体部 ダボ穴位置(数) の変更

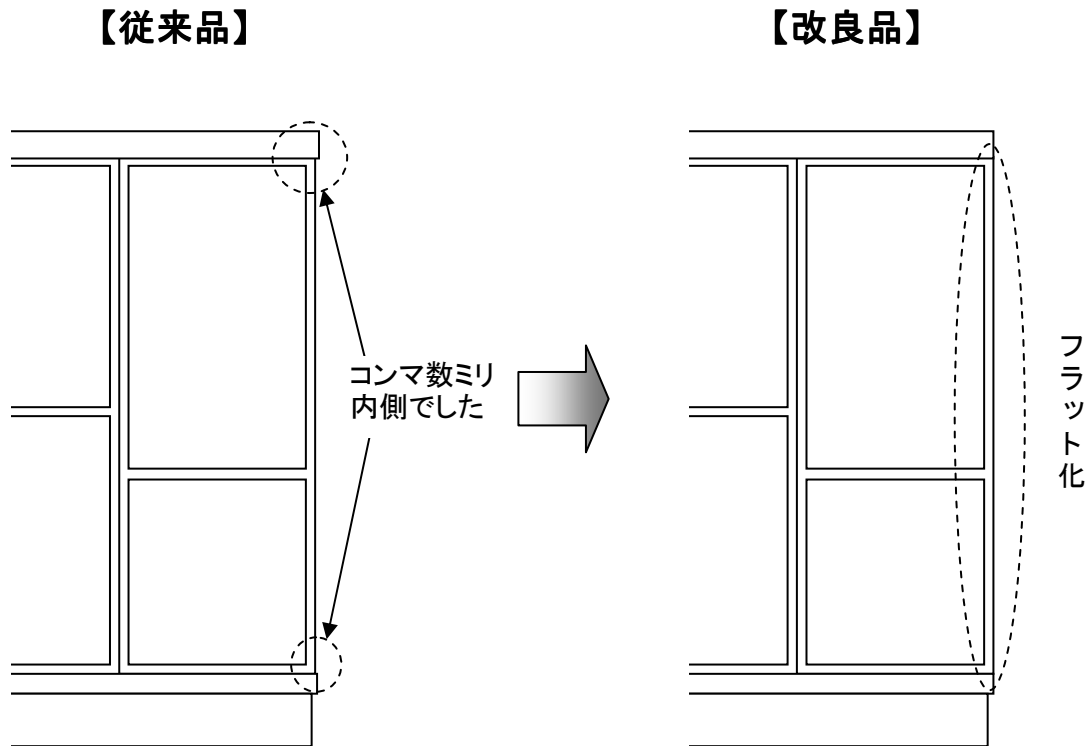
(A4Wボックス・例)

穴位置自体に変更はありません。
従来の棚割り計算でお使いいただけます。



■2・側面部をフラット化

これまでは天地板に対しBOXが若干内側であったため、連結時など隙間の出来たBox側面にベニア板を咬ませるなどの工夫が必要でしたが、ツライチ(右図)に改良しました。
また、天地元連結ボルトを緩めて手動での微調整も可能となりました。



※台輪は従来のまま両端2mm強小さくなっていますのでご注意ください。

■3・天板及び地板台輪セットのサイズ構成変更

上置き付(SHタイプ)例

()印内が変更サイズ ※()内は従来サイズ

昨今の住宅における巾木事情を考慮し、台輪の高さを従来の90mmより巾木分として100mmに延長しました。
総高に影響しないよう天・地はそれぞれの板厚を35mmに変更しました。
(雅・響シリーズは従来より35mmを使用しています)

※今後、書院を増設されるお客様には特にこの変更点をお伝え下さい
※雅・響シリーズに変更はありません。

【上置き付・書院】

(単位:ミリ)

